

**Memories of  
The East Asia Little Senior  
Baseball Tournament  
in MIYAZAKI  
Aug.2014**

**The Official Report  
Presented by  
ABIKO Little Senior  
parents' association**

## 我孫子リトルシニア 宮崎遠征の記録 (2014年8月22日～26日) — 東アジアリトルシニア野球宮崎大会 2014 出場 —



### はじめに

2014年夏、我孫子シニアは、宮崎市で開催された中学硬式野球の国際大会、『宮崎市制90周年記念：東アジアリトルシニア野球宮崎大会2014』に出場しました。

本大会には、海外(台湾・韓国・スリランカ)からの7チーム、国内から関東・東海・九州の各地区代表の45チーム、合計52チームが参加して、宮崎市内の各球場で熱戦が繰り広げられました。

来年、創部30周年を迎える我孫子シニアの長い歴史の中で、初めて九州の地を踏むこととなった記念すべき遠征、そして3年生部員にとって、我孫子シニアでの3年間の集大成となった遠征、その思い出の記録をレポートします。

### 遠征1日目:8月22日(金)

待ちに待った遠征出発の朝、大会前日の8月22日、金曜日です。

今回の遠征に参加するのは、我孫子シニアの3年生部員13名。2年生部員は、今週末から新チームの公式戦(秋季大会)が始まるため、3年生部員だけの遠征です。

最初に、今回の遠征メンバーを紹介します。(背番号順)

(主将) ①澤村 伊織 (我孫子中)	④大高 翔太 (取手二中)	⑨佐藤 郁海 (布佐中)
(副将) ②小嶺 隼人 (湖北中)	⑤市川 陸 (我孫子中)	⑩菅波 凌 (久寺家中)
(副将) ③中山 岳土 (常盤松中)	⑥鈴木 聡真 (我孫子中)	⑪今井 啓太 (高柳中)
	⑦有村 青波 (柏二中)	⑫坂部 優汰 (我孫子中)
	⑧酒井 俊 (我孫子中)	⑬古小路 陸 (川間中)

背番号⑬小林 勇太君(逆井中)は、腰のけがが完治せず、残念ながら不参加...

小林君の分も、みんなで頑張るぞ!

引率のチームスタッフは、(監督)仲野 和男、(コーチ)竹内 信明、(事務局長)古谷 靖、以上3名(敬称略)お忙しい中、それぞれに仕事の日程を調整していただきました。ありがとうございます。

父母会からは、全日程同行する父兄6名、その他数名の家族が、弾丸ツアーで現地にて合流する予定です。

集合はAM7:40、柏駅ホームです。

羽田空港、出発ロビーです。



往路の搭乗便は、羽田 AM11:00 発の SNA57 便、一路宮崎へ向かいます。

PM12:40 宮崎空港に到着、レンタカー4台に分乗して移動です。



(仲野監督の向かって右側、今回の遠征でお世話になった田崎さんです)

宿舎は、ホテルマリックスさん。今日から5日間、お世話になります。どうぞ、よろしくお願いします。  
我孫子シニアを含めて、大会出場の6チームが同宿となりました。



チェックインしてひと休みした後、明日からの試合会場となる『宮崎県総合運動公園』の視察に出かけました。  
ホテルから車で30分、野球場・室内練習場・陸上競技場・テニスコート・武道館・・・自転車競技場まであります。

こちらが、明後日(2試合目)の試合会場、**サンマリスタジアム宮崎**です。  
さすが、あの読売ジャイアンツのキャンプ地、ものすごい迫力です。選手達もテンションが上がります・・・



明日の試合会場、**宮崎県総合運動公園 A 野球場**です。  
こちらは、公園の中にある普通のグラウンドですが、それでも広さは十分です。手入れも、行き届いています。



ホテルに戻り、初日の夕食です。

明日からの試合に向け、  
今夜は長旅の疲れをしっかりと癒して  
くださいね・・・



## 遠征 2 日目:8 月 23 日(土)

大会本番の朝を迎えました。AM6:00 朝食、7:00 ホテル出発で、開会式に向かいました。

### 開会式(アイビースタジアム)



参加 52 チームが勢ぞろいしての開会式。会場は宿舎のホテルから車で 20 分、『宮崎市生目の杜運動公園』の大会メイン会場、**アイビースタジアム**。プロ野球ソフトバンクホークスのキャンプ地となっている、これまた立派な球場です。

入場行進です。行進曲は、『栄冠は君に輝く』…ブラズバンドの生演奏で、まるで甲子園のようです。我孫子シニアの選手達、なかなか立派に、元気よく行進しています。



国歌斉唱…いつもの習慣で、『君が代』…と思いきや、最初に台湾国歌の斉唱です。掲揚台には 4 ケ国の国旗、国際色豊かな雰囲気にもまれ、いよいよ大会が開幕しました。



大会は、23日(土)と24日(日)の前半2日間、リーグ戦形式の予選が行われます。  
予選は、参加52チームが4チームずつ13のブロックに分かれ、各チーム2試合ずつを戦い、各ブロック成績1位のチームだけが、3日目からの決勝トーナメントに進むことができます。

我孫子シニアは第10ブロック、同じブロックとなったチームを紹介します。  
A:我孫子シニア(千葉)、B:永靖國民中(台湾)、C:金沢シニア(石川)、D:長崎シニア(長崎)  
実にグローバル、かつ地域性豊かな組合せです。

『ねえねえ、これ(我孫子)って、なんて読むの?』  
『わかんねー。ガソンシ、じゃねえのか?』…みたいな会話が聞こえてきそうですね。  
『あびこ』ですよ、『あびこ』…ちゃんと覚えて、帰ってくださいね。

規定により、ブロック内の試合の組合せは、1日目がAvsBとCvsD、2日目がAvsDとBvsC、総当たりではありませんが、勝利数と得失点差で順位が決まります。  
したがって、1日目の対戦相手は、B:永靖國民中、2日目はD:長崎シニアと対戦します。

この日の試合は第3試合、15:00開始ということで、開会式終了後、一度宿舎に戻って小休憩をとり、お昼前に試合会場の宮崎県総合運動公園に向けて出発しました。

宿舎のホテル出発前、ロビーでの出陣式です。



我孫子シニアでの最後の大会、遠く離れた宮崎での試合を前に、母からの思いが込められた手作りマスコット(名前入り)が、選手ひとり一人に手渡されました。

### 予選リーグ1試合目 vs 永靖國民中(台湾) (宮崎県総合運動公園 A 野球場)

今回の組合せが決まった時から全員が楽しみにしていた、台湾の永靖中との試合です。  
3年間、茨城や埼玉には何度も遠征しましたが、それより遠くは知らない我孫子シニアの3年生たち…いきなり海外のチームとやって、果たしてどんな試合になるのでしょうか?…ドキドキしますね。  
しかし、選手達にとっては間違いなく、一生に一度あるかないかの、貴重な経験になるはずですよ。

グラウンドに到着すると、まだ第1試合、国立中央シニア(東京)と神村学園シニア(鹿児島)が対戦中。  
試合を観戦しながら、昼食のお弁当をいただきます。  
大会期間中の昼食は、地元の炙屋さんにお世話になりました。とても豪勢なお弁当で、選手達も大満足です。



第1試合は、神村学園が勝利、  
第2試合は、熊本中央シニア(熊本)が、横浜青葉シニア(神奈川)に勝利しました。  
九州勢、強いんですね…熊本中央は、投手がすごく良かったなあ…

そして、いよいよ出番です。果たして台湾の中学生は、どんな野球をするのでしょうか?

ところで、先攻・後攻は、どうやって決めるのかな？コイントス？・・・ではなく、普通にジャンケンで決めました。  
(ジャンケン、意外とグローバルですね。勉強になります。・・・あっ、勝って後攻です)



台湾の中学生・・・身体は、大きいです。



我孫子シニア、この日の先発オーダーは、

1 番: サード**澤村**、2 番: セカンド**大高**、3 番: ファースト**中山**、4 番: キャッチャー**有村**、5 番: レフト**小嶺**、  
6 番: センター**佐藤**、7 番: ピッチャー**酒井**、8 番: ショート**鈴木**、9 番: ライト**菅波**

試合開始です。普通に整列して、それぞれの国の言葉で挨拶をします。(台湾も日本と同じですね！)



#### <試合経過>

1 回表: 我孫子シニアの先発マウンドには**酒井君**、サードゴロ、一邪飛、空振り三振で三者凡退。テンポの良いピッチングで、絶好の立ち上がりです。

1 回裏: 1 番**澤村君**のショートへの打球がエラーを誘い、先頭が出塁。つづく2 番**大高君**がレフト前ヒット(エンドラン成功)で、先制のチャンスを作ります。**中山君**が丁寧に送りバントを決めて、1 死 2・3 塁とし、4 番**有村君**がきっちりとライトへの犠牲フライ!・・・理想的な攻撃で、1 点を先制します。

2 アウトから、さらに**小嶺君**のレフト前タイムリーヒットで2 点目!・・・**佐藤君**もヒットで続き、1・3 塁から盗塁を仕掛けると、永靖中キャッチャーの2 塁送球が悪送球となり、初回一挙3 点をあげます。

2 回表: この回先頭の永靖中4 番打者の打球は、三遊間への痛烈なライナー!これをサード**澤村君**が横っ飛びで好捕するファインプレー!・・・この回も三者凡退に退けます。いいリズムです。

2 回裏: 2 アウトから、**澤村君**が右中間を破る2 ベースヒットでチャンスを作ると、すかさず**大高君**がセンター前に弾き返し、タイムリーヒットで追加点!・・・4-0 として、試合の流れをガッチリと引き寄せます。

序盤は、どちらかと言うと相手チームの方が緊張していて、動きが固い印象です。逆に我孫子シニアの選手は、のびのびと自分達の野球ができています。なんだか、すごく頼もしく見えますね。

3 回表: 2 アウトから永靖中に初ヒット(ライトオーバーの3 塁打)が出て、内野安打で1 点を返されますが、後続をきっちりと断ち、最小失点で切り抜けます。

4 回表:先頭打者の大飛球をセンター**佐藤君**が一直線に背走しながら、ナイスキャッチ！バックも堅守・好守を連発し、相手に流れを渡しません。

4 回裏:この回先頭の 8 番**鈴木君**が四球を選び出塁、**菅波君**がしっかりと送りバントを決めて、得点圏に走者を進めます。ここで**澤村君**がライト前にタイムリーヒットを打ち、待望の中押し点！リードを再び 4 点に広げます。

5 回表:**酒井君**の好調なピッチングが続きます。守備も落ち着いて、アウトを重ねていきます。

5 回裏:先頭の**有村君**が四球で出塁すると、**小嶺君**がレフトにこの日 2 打点目となるタイムリー2 ベースヒット！1 塁から有村君が一気に生還して 6 点目が入ります。外野からの送球の間に小嶺君も 3 塁まで進み、永靖中のワイルドピッチで 7 点目！リードを大きく広げます。

さらに、死球・四球・四球で満塁とし、最後は再びワイルドピッチで 8 点目！5 回裏攻撃中で 7 点差となり、大会規定によりコールド勝ちでゲームセットです！

**我孫子シニア、海外のチームを相手に、九州の地で記念すべき 1 勝をあげました！**

#### 試合結果(8 月 23 日:宮崎県総合運動公園 A 野球場 第 3 試合)

T.N.	1	2	3	4	5	6	7			計
永靖国民中(台湾)	0	0	1	0	0					1
我孫子シニア	3	1	0	1	3x					8

投手:**酒井**(1 勝)

捕手:**有村**

本塁打: 三塁打: 二塁打:**澤村、小嶺**

一週間前から、今日の先発を言い渡されていたという**酒井君**、気合い十分でしたね！完投勝利、おめでとう！攻撃は、7 安打で 8 得点、バントを絡めた攻撃や、2 アウトからの適時打が目立ち、打線が良く繋がりました。そして、守りも無失策・・・攻守ともに 3 年間の練習の成果を存分に発揮した、会心の試合運びでした。山田コーチ、酒井コーチ、高野コーチ、久家コーチ、若田部コーチ、佐藤コーチ、兵藤コーチ、石和田コーチ・・・教え子たちが、やりましたよ！（それにしても、初めての国際試合でコールド勝ちとは・・・びっくりです）

勝ち残りで大グラウンド整備のトンボ掛けをしていると、・・・そこへ、永靖中の通訳さんが近づいてきました。『あの一、永靖中の監督さんが、一緒に写真を撮って欲しいと言っているのですが・・・』

さすが、国際大会・・・こちらこそ是非、お願いします！

全員マウンド付近に集合し、両チームの選手が一緒になって、記念撮影です。



最初は戸惑い気味の選手達でしたが、撮影が終わると握手をしたり、肩をたたき合ったり、・・・ハグをしている選手もいます。まさに、国際交流ですね！



勝ち負け関係なしに、国境を越え、同じ年代の野球仲間同士、素晴らしい交流のひとつとなりました。  
**永崎国民中の皆さん、ありがとうございました。・・・再見！**

予選リーグ第10ブロックのもう1試合、**金沢シニアと長崎シニア**の試合は、1-0で明日対戦予定の**長崎シニア**が勝利しました。この結果、明日の試合で勝った方が、決勝トーナメントに進出することになりました。

試合	対戦相手	スコア
1	知多東洋	1-12 福岡城南
2	戸塚	3-0
3	新本中央	3-0 横浜青葉
4	鳥栖	8-1 永崎国民中
5	新座東	1-0 金沢
6	東海神宮	4-0
7	八代	4-0

試合	対戦相手	スコア
8	庄和	1-12 福岡城南
9	戸塚	3-0
10	新本中央	3-0 横浜青葉
11	鳥栖	8-1 永崎国民中
12	新座東	1-0 金沢
13	東海神宮	4-0
14	八代	4-0

## 2日目の夕食

この日の夕食は、仲野監督の肝煎りで、炙屋さんのお店にお邪魔し、地元の豚しゃぶしゃぶを堪能しました。昼間の試合での勝利の余韻も手伝い、大変な盛り上がりです。



全員、大満足で翌日の試合への鋭気を養った一夜でした。炙屋さん、ありがとうございました。

## 遠征 3 日目: 8 月 24 日(日)

大会 2 日目、予選リーグの 2 試合目を迎えました。試合は第 3 試合、13:00 開始予定です。  
AM10:00、宿舎のホテルを出発、試合会場に向かいます。

今日の試合会場、**サンマリスタジアム宮崎**をあらためてご紹介します。

球場内にある展示室です。古くからのプロ野球のキャンプ地、宮崎県の歴史が展示されています。



グラウンド全景です・・・内外野とも天然芝の美しいグラウンドです。ファウルゾーンも広いですね！



### 予選リーグ 2 試合目 vs 長崎シニア (サンマリスタジアム宮崎)

決勝トーナメント進出がかかるこの試合、他の試合の結果に関係なく、勝つか引き分けで決勝トーナメント進出、負ければその瞬間、我孫子シニアでの最後の試合となる大一番です。



この日の長崎シニアの先発投手(増田君)は、侍 JAPAN の U15 日本代表に選出された九州屈指の好投手とのこと。中学生で MAX138 キロ、という評判の右腕だそうです。  
難敵ですが、相手も同じ学年の中学生、思いつきりぶつかっていくしかないですね！

我孫子シニア、この日の先発オーダーは・・・  
うわっ！なんとスコアボードに選手の名前が！  
これは、記念になりますね。

ついでに、スピードガンの球速も表示されています。  
さらには、アナウンスも・・・何度聞いても本物のウグイス嬢です。

何から何まで、まるでプロ野球の試合のような晴れ舞台・・・  
我孫子シニアに入部した 3 年前、  
まさかこんな場所に来て試合をすることになるなんて、  
選手達は想像もしていなかったことでしょう・・・緊張するな！普段どおりだよ！



## <試合経過>

1 回表:我孫子シニア、この日の先発マウンドは**澤村君**。肘のけがから長いリハビリを経て、やっとこの大会に間に合いました。公式戦は、約1年ぶりの先発マウンドです。

先頭バッターへの初球、120キロ前半のストレートを左中間に二塁打され、いきなりピンチを背負います。次打者の送りバント失敗(1→5)で、1死1塁となりますが、3番(増田君)に変化球を上手くライト前に合わされ、再び1・3塁のピンチ。ここで、4番打者の詰まった当たりがライト線に落ちるタイムリーヒットとなり、1点を先制されます。さらに、もう1本タイムリーが出て、初回2点を失います。

1 回裏:長崎シニア先発の増田君がマウンドに上がります。注目の初球、サンマリスタジアムの球速表示は、131キロのストレート!噂どおりの剛速球です。三振、三振、死球、三振で3アウトチェンジ。



2 回以降、長崎シニアの力強いバッティングの前に、ピンチの連続...3回には犠牲フライ、4回はバントヒット、5回にも犠牲フライで小刻みに得点を許します。

いつもと違う球場の雰囲気の子供、守備の動きも少し固いなあ...

それでも、3回のピンチの場面では、センター**酒井君**が左中間を抜けそうなライナーをダイビングキャッチの超ファインプレー!5回も無死満塁を1点で凌ぐなど、なんとか最小失点で踏みとどまります。



攻撃は、増田投手の速球に必死に喰らいつき、チャンスは作りますが、あと1本がなかなか出ません。

3 回裏、この回先頭の**鈴木君**が、差し込まれながらも執念でライト前に運ぶチーム初ヒット!さらに、**今井君**が四球を選び、初めて得点圏に走者を進めますが、後続が倒れて無得点。

4 回裏:同じくこの回先頭の**中山君**がストレートを完璧に捉え、右中間を深々と破る3ベースヒット!無死3塁と攻めますが、この回も得点ならず...

5 回を終了して0-5、5点ビハインドの苦しい展開です。



6 回表:この回からマウンドに**佐藤君**が上がり、長崎シニアの攻撃を無得点に抑えます。

すると、ここから我孫子シニアが反撃を開始!

6 回裏:1アウトから**澤村君**が死球で出塁、**大高君**がショートへの内野安打で繋ぐと、**中山君**も四球を選んで、満塁のチャンス!...2アウトとなりますが、ここで**小嶺君**がレフト前へ2点タイムリーヒット!

日本代表の好投手から2点を返し、2-5と3点差に追いつきます。まだまだ、試合はわかりません。



しかし、・・・7 回表:長崎シニアに 3 点を奪われ、点差を広げられてしまいます。



我孫子シニア、最終回の攻撃は、古小路君、坂部君、市川君と、代打攻勢をかけますが、得点ならず。試合終了となりました。



### 試合結果(8月24日:サンマリスタジアム宮崎 第3試合)

T.N.	1	2	3	4	5	6	7			計
長崎シニア	2	0	1	1	1	0	3			8
我孫子シニア	0	0	0	0	0	2	0			2

投手:澤村(1敗)-佐藤 捕手:有村

本塁打: 三塁打:中山 二塁打:

残念ながら、決勝トーナメント進出はならず、この試合が我孫子シニアでのラストゲームとなってしまいました。最後の試合を終え、仲野監督からの訓示を受けます。



我孫子シニアでの 3 年間、選手ひとり一人、それぞれの胸にそれぞれの想いがあるものと思います。入部して 3 年、山あり谷あり、今日まで決して平坦な道のりではなかったはず・・・しかし、最後にこの宮崎での大会に出場することができ、そして今日、この球場でこの仲間とともに、最後まで泥と汗にまみれながら白球を追い続け、我孫子シニアでのゴールを駆け抜けることができました。この 3 年間の道のりは、君達にとってかけがえのない宝物となり、必ずこれからの糧となることでしょう。

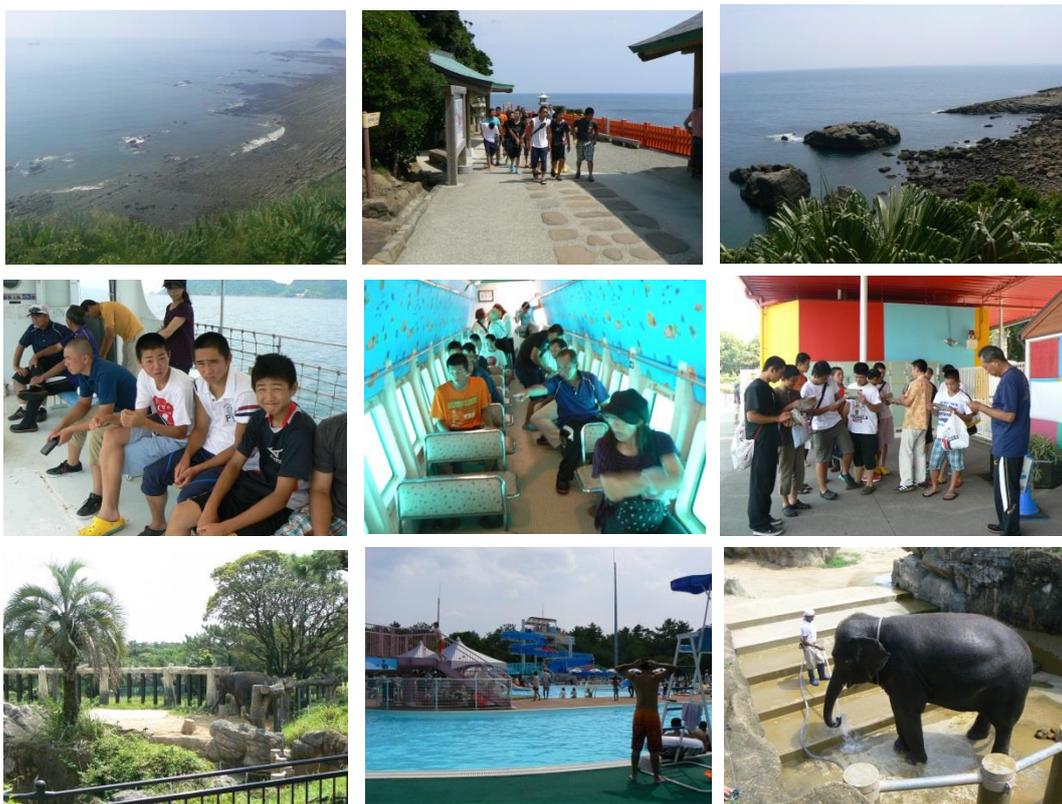
**3 年間、よく頑張りました！完走おめでとう！・・・(拍手)**

東アジアリトルシニア野球宮崎大会 2014、予選リーグ第 10 ブロック最終成績です。

- 第 1 位:長崎シニア (2 勝 0 敗、得失点差+7)
- 第 2 位:金沢シニア (1 勝 1 敗、得失点差+2)
- 第 3 位:我孫子シニア (1 勝 1 敗、得失点差+1)
- 第 4 位:永靖国民中 (0 勝 2 敗、得失点差-10)

**【付録】 遠征4日目:8月25日(月)、遠征5日目:8月26日(火)**

大会を終えた我孫子シニアの選手達、遠征後半はオフとなり、宮崎観光に出かけました。  
3年間、同じグランドで練習に汗を流し、助け合い、切磋琢磨してきた仲間たち・・・今回はユニホームを脱いでグランドを離れ、みんなで真夏の宮崎を満喫しました。



(←母たちです)

中学生最後の夏、きっと最高の思い出づくりができたことでしょう。

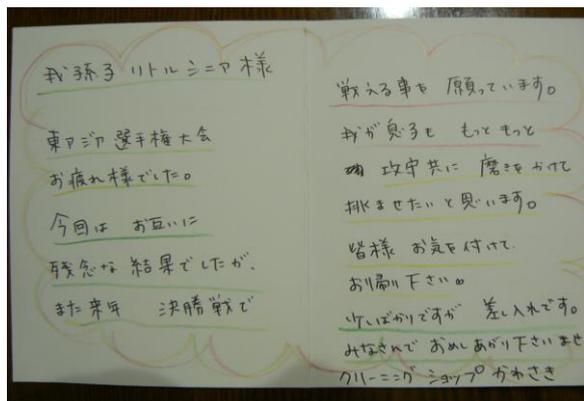
・・・最終日、お世話になったホテルマリックスさん前で、スタッフの皆さんに挨拶です。



5日間の日程を終え、宮崎に別れを告げました。(宮崎空港)



最後に、大会期間中、お世話になった『クリーニングかわさき』の川崎様からいただいた手紙を紹介します。川崎様は、選手のユニホームのクリーニングでお世話になり、宿舎まで朝晩の集配をいただいた方です。息子さん(中学2年生)が、宮崎シニアさんに在籍しており、同じ大会に出場していたことから親しくお話をさせていただくようになり、最終日にこのようなお手紙をいただきました。



**我孫子リトルシニア様**

東アジア選手権大会 お疲れ様でした。  
 今回はお互いに 残念な結果でしたが、  
 また来年 決勝戦で 戦えることを願っています。  
 我が息子も もっともっと 攻守共に磨きをかけて  
 挑ませたいと思います。  
 皆様 お気を付けて お帰りください。  
 少しばかりですが 差し入れです。  
 みなさんで おめしあがり下さいませ。

クリーニングショップ かわさき

**おわりに**

こうして、我孫子シニア3年生部員の中学時代最後の夏は、幕を閉じました。選手達にとって、3年間の締めくくりとして、最後にこのような大会に出場することができたことは大きな自信となり、また、様々なことを学び、気づき、成長する機会になったものと思います。今回の宮崎遠征は、多くの方からの寄付金をはじめ、我孫子シニアの活動に賛同いただいた関係者の皆様からのご支援とご協力に支えられ、実現することができました。初めて訪れた宮崎でも、田崎さん、ホテルマリックスさん、灸屋さんをはじめ、たくさんの方の温かく迎えていただきました。ここにあらためて、ご支援いただいた全ての皆様に感謝の意を表します。また、これまで数多くの先輩方が築いてこられた我孫子シニアの長い歴史と、確かな礎があってこそ、今年度、この学年で、連盟推薦をいただくことができました。歴代の先輩方・父母会の皆様にも御礼方々、ご報告申し上げます。今後も、一人でも多くの後輩たちが我孫子シニアでの活動を通じて多くのことを学び、さらに大きな舞台へと飛躍されることを祈念いたします。

2014 年夏



**我孫子リトルシニア 2014 年度 宮崎遠征参加メンバー**

(後列左から)有村 青波、小嶺 隼人、坂部 優汰、佐藤 郁海、酒井 俊、中山 岳土  
 (前列左から)今井 啓太、古小路 陸、鈴木 聡真、澤村 伊織、大高 翔太、菅波 凌、市川 陸

(文責:2014 年度父母会長 澤村)